

輸出事業計画 ※申請者名：株式会社秀果園

品目：ぶどう、りんご、ぶどう加工品

1. 輸出における現状と課題

現 状

○全国のぶどうの現状

- ・好調な国内販売に加え、「インバウンド」による海外での認知度向上、品質の高い評価により、アジアを中心に輸出量が急速に伸びている。

○当社における輸出の状況

- ・2016年から海外輸出に取り組んでいる。主にフィリピンへりんごをコンテナ輸出しており、2021年は新たにタイ、カナダ、シンガポールへぶどうの輸出を行った。

課 題

○栽培面

- ・生産者の高齢化による担い手の減少により遊休荒廃農地の増加。

○加工・流通面

- ・輸送時の損傷による商品の品質低下。

○販売面

- ・輸出先ごとの需要（品質、価格等）に即した有利販売。

2. 輸出事業計画の取組内容

取 組

○栽培面

- ・遊休農地を活用し、輸出先国の品質・価格等の要求に合致する生産が可能な低コスト・省力化栽培技術の導入を検討する。（マンソン式ぶどう棚のコスト試験や慣行の平棚との施工コスト・収量の比較試験を実施）

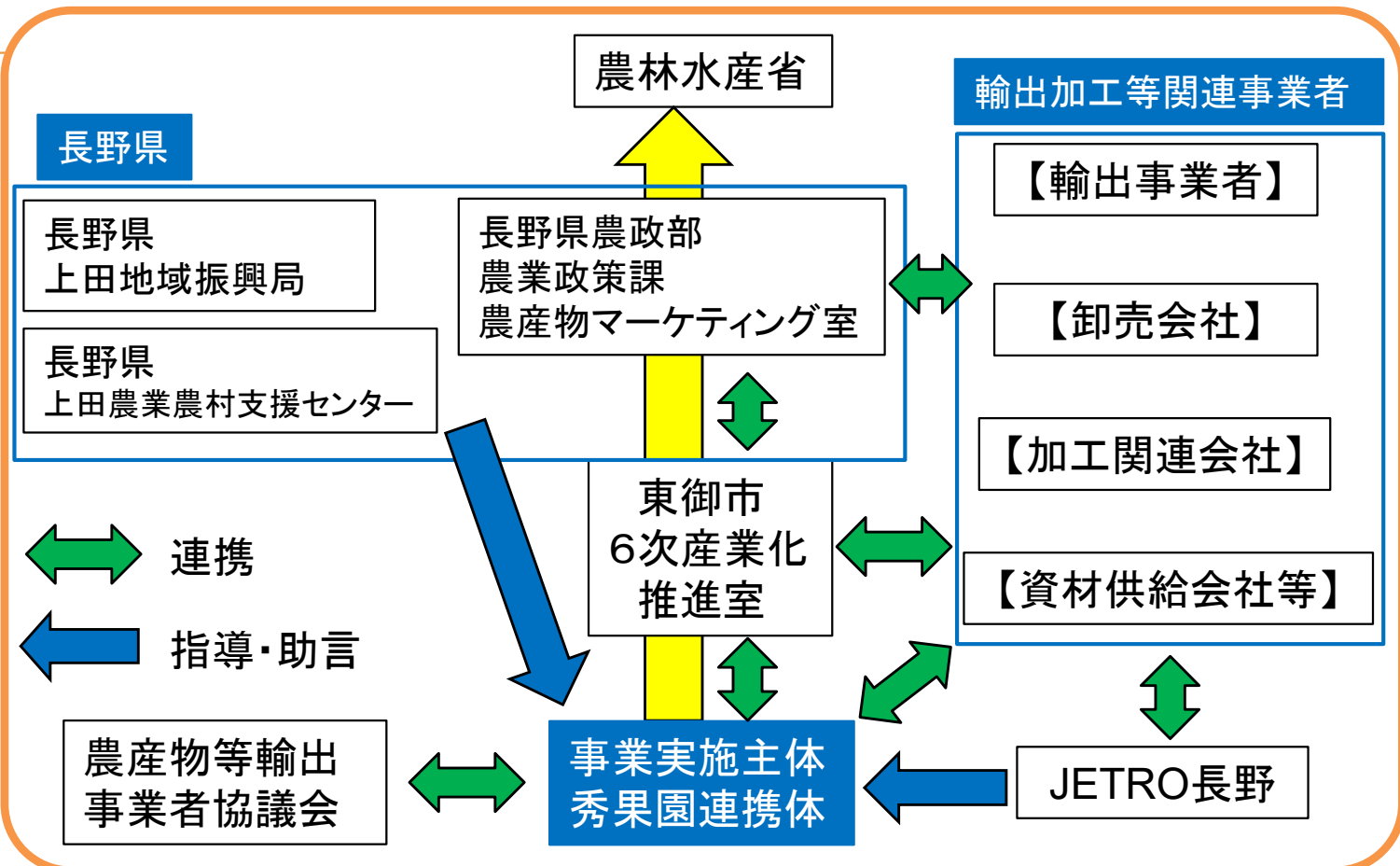
○加工・流通面

- ・ぶどうの通年輸出を目指し、関連企業と連携してぶどう加工品（冷凍及び乾燥等）の商品化に取り組む。
- ・生果及び加工品のサンプル輸送試験に取り組み、輸送が及ぼす商品品質（貯蔵性や商品ロス）への影響を検証する。

○販売面

- ・商流のあるフィリピン及びECを活用して輸出を開始したシンガポールへ実際に渡航し、実需者への商談等を実施する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和3年度)	目標年 (令和7年度)
ぶどう	輸出額(千円)	1,003	2,310
	輸出量 (t)	0.25	1.7
	輸出先国	タイ、シンガポール、カナダ、フランス	タイ、シンガポール、カナダ、フランス
りんご	輸出額(千円)	0	6,675
	輸出量 (t)	0※	3.0
	輸出先国	—	フィリピン
ぶどう加工品	輸出額(千円)	0	1,200
	輸出量 (t)	0	0.2
	輸出先国	—	タイ、シンガポール、カナダ他3か国

※令和3年は新型コロナウイルスの影響でコンテナを確保できなかったため